



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第19巻
第10号) 編集後記・購読要項・投稿
内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第19巻第10号) 編集後記・購読要項・投稿内
規. 泌尿器科紀要 1973, 19(10): 912-912

ISSUE DATE:

1973-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121572>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

49. 1. 16

第 19 巻 第 10 号

1973年10月

高血圧を伴った小児腎動脈瘤の1例.....	永田 肇・ほか	813
腎血管性高血圧症—後腹膜類皮嚢胞による1例—		
.....	岩動 孝・山田 行夫・大堀 勉	821
腎被膜に骨形成のみられた1例.....	佐川 史郎・ほか	829
Posterior Vertical Lumbotomy による腎盂切石術 (Gil-Vernet) の経験		
.....	林 知厚・中村 隆幸・矢野 久雄	837
3歳女児に施行せる尿管・回腸・S状結腸吻合術の経験.....	松田 稔・ほか	843
電気刺激による排尿：亜急性期実験.....	近藤 厚生	853
排尿障害の水力学的研究—前立腺肥大症および神経因性膀胱の排尿時膀胱内圧、 尿流量および最低尿道抵抗について—.....	黒木 隆亨	859
副睾丸平滑筋腫の1例.....	薬師寺道則・境 優一・野田 進士・山口 和彦	881
膀胱炎に対する Aminocyclohexyl-Penicillin の使用経験		
.....	加藤 廣海・袴田 隆義・多田 茂	889
尿路感染症に対する Sulfamethoxazole-Trimethoprim (ST) の使用経験		
.....	寺尾 暎治・岡 直友・杉浦 式	895
尿路感染症に対する Thiophenicol Glycinate (Neomysyn G) の使用経験		
.....	大堀 勉・岩動 孝・戸田 宇一	901
膀胱炎に対する Thiophenicol の少量短期投与の臨床効果.....	古畑 哲彦	909
編集後記・購読要項・投稿内規		912

CONTENTS

Renal Artery Aneurysm in A Child with Hypertension: Report of A Case		
.....	H. Nagata, et al.	813
Renovascular Hypertension Caused by Retroperitoneal Dermoid Cyst:		
Report of A Case	T. Isurugi, Y. Yamada and T. Ōhori	821
Bone Formation in the Renal Capsule.....	S. Sagawa, et al.	829
Experience of Pyelolithotomy through Posterior Vertical Lumbotomy		
(Gil-Vernet)	T. Hayashi, T. Nakamura and H. Yano	837
Clinical Experience with Ureteroileosigmoidostomy for a 3-year-old Girl		
.....	M. Matsuda, et al.	843
Micturition Aided by Electric Stimulation: A Subacute Study	A. Kondo	853
Urodynamic Studies on Disturbance of Micturition		
—Voiding Pressure, Urinary Flow Rate and Minimum Urethral Resistance		
during Micturition in Patient with Benign Prostatic Hyperplasia		
and Neurogenic Bladder—	T. Kuroki	859
Leiomyoma of the Epididymis.....	M. Yakushiji, Y. Sakai, S. Noda and K. Yamaguchi	881
Clinical Use of Aminocyclohexyl-Penicillin for Cystitis		
.....	H. Kato, T. Hakamada and S. Tada	889
The Effect of Sulfamethoxazole-Trimethoprim Combination Product		
to the Urinary Tract Infections	E. Terao, N. Oka and H. Sugiura	895
Clinical Experience with Thiampenicol Glycinate (Neomysyn G)		
for Urinary Tract Infections	T. Ōhori, T. Isurugi and U. Toda	901
Clinical Effects of Thiophenicol Administered Small Dosage and Short Period		
for Acute Cystitis	A. Furuhata	909

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine
Kyoto University, Kyoto, Japan

禁 帯 出

到着後1ヶ月間

編 集 後 記

日本語の医学論文を読んでいて気のつくことの一つは、「等」(「とう」,「など」または「ら」)がやたらに多く用いられていることである。もちろん“et al.”の意味で欠かせないばあいもあるが、専門用語や人名のうしろにつけられて、範囲をぼやかすような作用をはたしているかにみえることもしばしばである。たとえば「著者らはここに1例を報告した」の「ら」は不必要であって「著者」の中に複数の著者名がすべて包含されているはずである。ただし原稿を書いておられる先生ご自身は他とは異なる著者だと思っておられるのかもしれない。「等」にいたっては人名につけられると田中等(たなかひとし)と姓名になってしまう。科学論文では「等」をあまり用いないことが日本語を論理的に機能させるために必要であろう。(T. T.)

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料2,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間12ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけて下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ , %, pHなどを使用し、は不用です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
例 1) 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 1955.
2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
例 1) 加藤篤二: 日本泌尿器科全書, Vol. 5, p. 175, 金原出版 & 南江堂, 東京, 1960.
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。ご投稿のさい希望部数を申し込んでください。お急ぎのときは特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
10. 原稿は最終的にご希望があれば返却いたします。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けはいたしません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第19巻 第10号	1973年10月25日 印刷	1973年10月31日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500円(送料別)
編集 友吉 唯夫	発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
